

焼きものとは、いにしえにおいては生活の道具以上の意味は持たなかったと思います。しかし時代が下がるにつれて、的感覚が求められ、さらには芸術性をもとめられるようになりました。私は、古今東西を問わず、有名無名を選ばず、名品の心を感得し、名工の技を吸収することにつとめながらも、あくまでも素朴な焼きものの臭さを失わぬ作品を作ること念じています。未熟ではあります。意欲のほどをおくみとりください、御叱責御指導を賜れば幸甚に存じます。

ご存じのように、土ものとは変わりやすく、ひび（貫色）の中に水分が染み、つて、生地の色を変えたり、景色を醸し出したりするなど、使うほどに味わいを増します。なお、使い始めに汗をかいったり、お湯が染み出したりすることがありますが、しばらく使っているうちに止まります。御使用前に、水を十分含ませるのもそれを防ぐ一法かと存じます。

未長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。



ひさしかま

つるたよしひさ

久窠

鶴田 純久

〒八四四-0001

佐賀県西松浦郡有田町泉山一丁目二十八番二十三号

電話番号 ○九五五-四三一二七六四

E-MAIL: info@turnutajp

URL: <http://turnutajp>